

活動方針検討シート

10年ビジョン(将来のあるべき姿)

例) 選ばれる企業づくりの実践（認証があれば取得）を取り組まれている企業が**半数以上**に達している。それに伴って、新卒を中心とした多様な求職者の採用活動が活発になっており、地域に貢献できている。

現状を認識する

<p>1. 時代の流れ(情勢認識)</p> <p>例) ・少子高齢化や若者の流出による人口減少が進み、人材に関する課題が深刻になっている。それは物理的な面だけではなく、売り手市場がもたらす労働感の変化なども感じられ、その環境下でも目標を持って働くことへのアプローチが非常に重要であると</p>	<p>3. 人を生かす経営4委員会の歴史（誇れる伝統）</p> <p>例) 労使見解を基にした「人を生かす経営」の考え方が文化されており、時代が変わろうとも不変のものであり、一人の人間として重要な考え方であると認識できている。</p>
<p>2. 会員さんは何を望んでいるか</p> <p>例) 現状は同友会でどんな学びができるか、どんな考え方があるのかも伝えられていない状態であるため、何かを望まれていたにしても、漠然と“いい会社になりたい”ぐらいに留まっているのではないか。</p>	<p>4. 諫早支部4委員会の持ち味</p> <p>例) 県の理事の会員さんや意識の高い方が多いため、非常に恵まれた環境であるし、支部活動ということでネットワークも軽い。この現状を活かして、今のうちにある程度の仕組みはつくっておかなければいけない。</p>

諫早支部4委員会のあるべき姿(活動展開の方向)

<p>5. どのようなスタンスで活動をするか</p> <p>例) 同友会の強の部分は重要であるし、4委員会がそれを担っていかなければいけないことは間違えない。現在も様々なアプローチで活動を知っていただきながら、興味を持っていただき学びを深め、不離一体の考え方の基、会社づくりにも反映されていくことが、現時点での目標かと感じている。ただし、本来は経営者であるならば自分から積極的に気付くべきであるとも思う。諫早支部でも盛んに「労使見解」のことや「理念」「指針」「就業規則」に関することが語られるような風土になればと思う。</p>	<p>6. 諫早支部4委員会ならではの特徴をどう生かすか</p> <p>例) 今は環境に恵まれている。人が変わったら振り出しに戻ることがないように次年度中にはある程度の流れを作っておく</p> <p>7. その為の体制づくり</p> <p>例) 委員会ごとの取り組みなどを次年度中に実践しながら決定し、支部でも学びが完結できるようにする</p>
--	---

諫早支部4委員会の目標

<p>8. 中期活動目標（5年）</p> <p>例) 全体の25%の会員さんが選ばれる企業づくりに取り組み（認証があれば認証を取得し）多様な雇用を実践している。そして、その成功、失敗の体験が例会内で報告され、全ての会員さんの学びの場となっている。</p>	<p>9. 目標実現の障害になるもの</p> <p>例) 仲間づくりの際の活動目的の伝え方 ※堅苦しいと入会しにくい、ある程度は説明がされていないと想いの共有が困難になる</p> <p>10. 活動理念との関連で問題ないか</p> <p>ご参加が滞っている会員さんも分母に加わっているため目標達成のためには、</p>
<p>11. 目標実現の為に何をやるか（到達するための道筋）</p> <p>例) 1社でも多くの会員さんに人を生かす経営を理解していただくため、4委員会の活動を継続すること。そして、まずは一丁目の「理念策定」「指針策定」を実践していただくこと。</p>	<p>12. 数値上の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部会員全体の25%が選ばれる企業に相応しいと認定されている。 ・支部会員さん企業の雇用者数が10%増加している